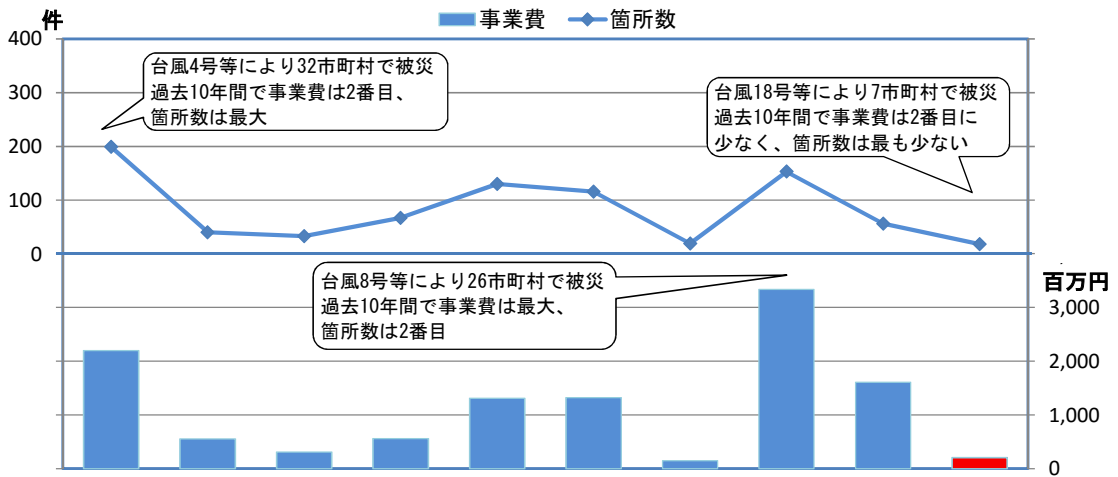


災害復旧事業費の状況について

- ・平成28年の災害復旧事業費の査定立会結果は2億円
- ・過去10年間でみると2番目に少ない規模

1. 災害復旧事業費の状況

- 平成28年に管内で発生した災害に係る災害復旧事業費の査定立会結果は、18件、205百万円となった。
- 過去10年間でみると、事業費は平成25年に次いで2番目に少なく、箇所数は最も少ない規模となった。



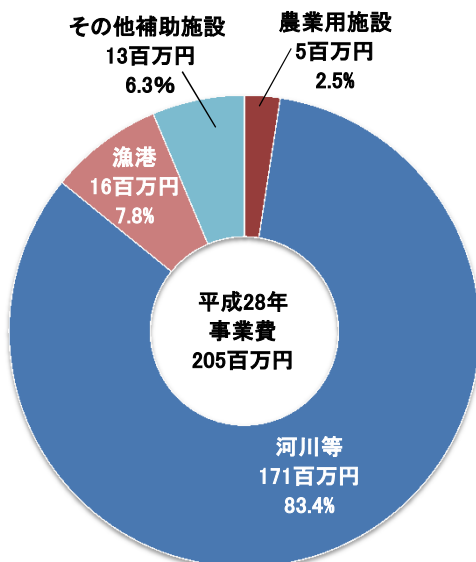
(単位: 件、百万円、市町村)

	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	平成28年
箇所数	199	40	33	67	130	116	19	153	56	18
事業費	2,199	549	309	558	1,307	1,318	148	3,335	1,605	205
被災地数	32	4	13	15	27	27	7	26	17	7

(参考) 沖縄地方の天候(抜粋) (出所: 沖縄気象台)

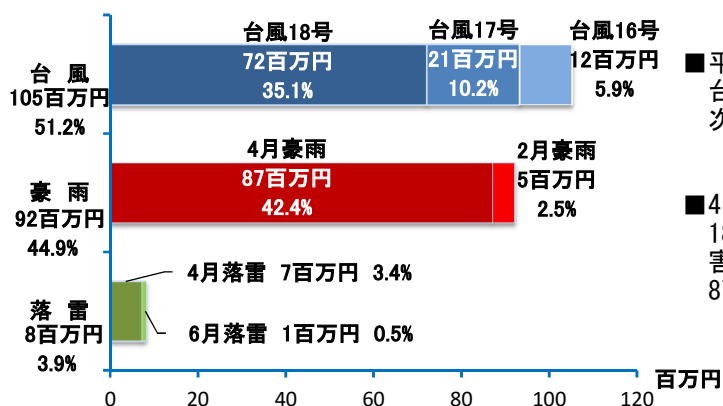
- ・平成28年 台風第18号は、久米島の南の海上で中心気圧905hPaと発達し、勢力を維持しながら久米島にかなり接近して通過した。最大瞬間風速は久米島空港で59.7m/sを記録。沖縄本島地方及び久米島に暴風特別警報を発表した。
- ・平成26年 台風第8号の接近に伴い、7月7日宮古島地方と沖縄本島地方に全国で初めて台風等を要因とする特別警報を発表した。また、7月19日には沖縄本島地方に大雨特別警報を発表した。
- ・平成19年 台風第4号の暴風域は7月13日06時には台風中心の東側280km、西側150kmに拡大し、台風の進行速度も若干減速したため、沖縄本島地方ではほぼ一昼夜の間、暴風が吹き荒れた。

2. 施設別の状況



- 平成28年の災害復旧事業費を施設別でみると、河川等が171百万円(全体の83.4%)と大宗を占め、次いで漁港16百万円(7.8%)、その他補助施設13百万円(6.3%)、農業用施設5百万円(2.5%)となっている。

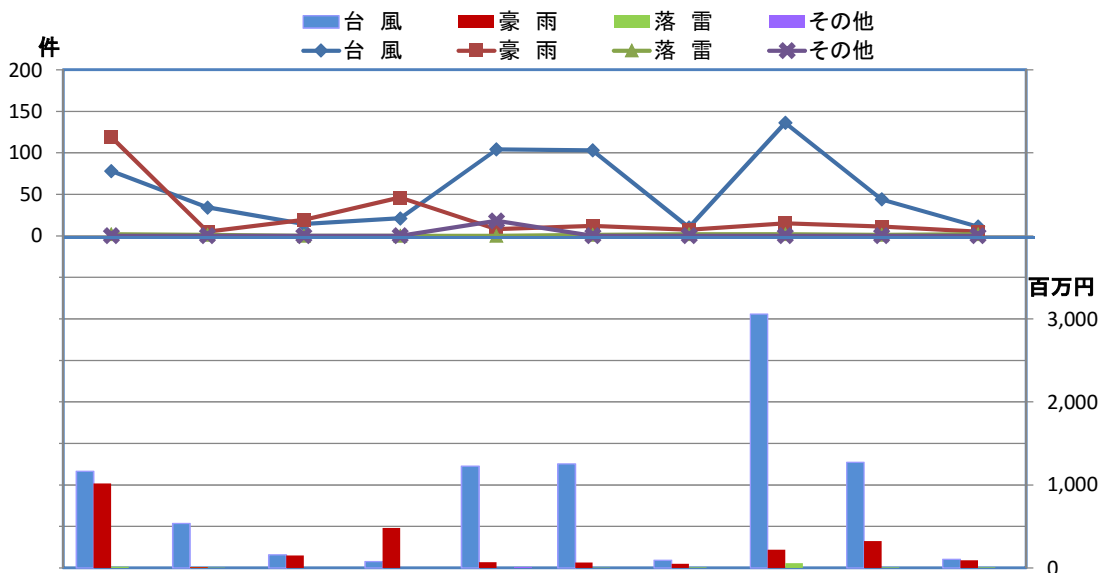
3. 災害原因別の状況



■平成28年の災害復旧事業費を災害原因別で見ると、台風が105百万円（全体の51.2%）と最も多く、次いで豪雨92百万円（44.9%）、落雷8百万円（3.9%）の順となっている。

■4月の豪雨災害87百万円（42.4%）、10月の台風18号災害72百万円（35.1%）、9月の台風17号災害21百万円（10.2%）で28年事業費205百万円の87.7%を占めている。

【災害原因別の推移】



(単位: 上段 箇所数・件、下段 事業費・百万円)

災害原因	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	平成28年
台風	78 1,164	34 535	14 158	21 76	104 1,228	103 1,252	10 92	136 3,059	44 1,273	11 105
豪雨	119 1,017	5 12	19 151	46 481	8 69	12 64	7 49	15 218	11 322	5 92
落雷	2 17	1 1					1 7	2 58	1 9	2 8
その他					18 9					

(注)平成23年の「その他」は、地震(東日本大震災関連)

【(参考)台風発生等の状況(出所:沖縄気象台)】

(単位:個)

	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	平成28年
台風発生数	24	22	22	14	21	25	31	23	27	26
うち沖縄県 接近数	8	6	3	6	7	11	9	10	6	7

【お問い合わせ先】
沖縄総合事務局財務部理財課(主計班)
電話 098-866-0092